



MUSIC LABORATORY SYSTEM  
**YML System Controller**

**取扱説明書**

# 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、MLA-4 を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



### 警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

この製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

# ⚠ 警告

## 電源 / 電源アダプター



電源は必ず交流 100V を使用する。  
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。  
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターは、必ず指定のもの (PA-3C) を使用する。  
(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発熱、  
火災などの原因になります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこり  
をきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

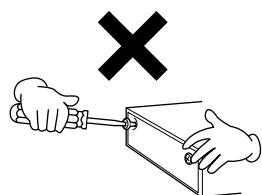


電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。  
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

## 分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。  
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



## 水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

## 火に注意



本体の上にろうそくなど火気のあるものを置かない。  
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

## 異常に気づいたら



電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常においや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

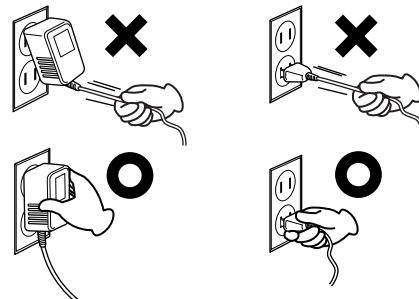
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

# ⚠ 注意

## 電源 / 電源アダプター



電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。  
電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

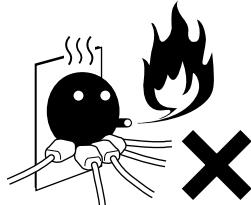




長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。  
感電や火災、故障の原因になることがあります。



たこ足配線をしない。  
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



## 設置



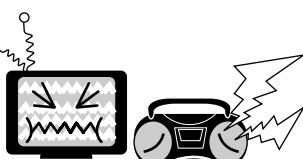
直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。

本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。

楽器本体または  
テレビやラジオ  
などに雑音が生じる場合があります。



不安定な場所に置かない。  
本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。  
コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



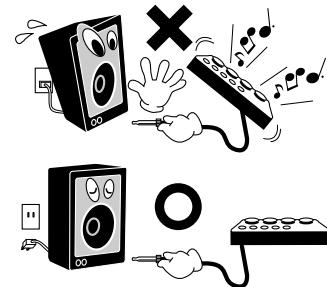
この機器を電源コンセントの近くに設置する。  
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さら



に、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。

感電または機器の損傷の原因になることがあります。

## 手入れ



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。

本体のパネルや鍵盤が変色／変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。

## 使用時の注意



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。  
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

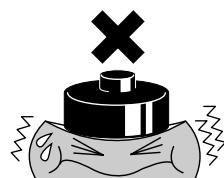
本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。

本体のパネルや鍵盤が変色／変質する原因になります。



禁止

本体の上にのったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。



本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。  
聴覚障害の原因になります。



- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

- ・この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。
- ・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・このソフトウェアおよび取扱説明書の著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・このソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・このソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

この製品は、ヤマハ（株）が著作権を有する著作物やヤマハ（株）が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDI データ、WAVE データ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ（株）の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

- ・「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

## はじめに

このたびは、ヤマハ・ミュージック・ラボラトリー・システムをご採用くださいまして、誠にありがとうございます。ヤマハ・ミュージック・ラボラトリー・システムには、音楽教育の豊富なノウハウと先進のエレクトロニクス技術を結集して完成した、ヤマハの音楽教育システムです。

本書では、ヤマハ・ミュージック・ラボラトリー・システムの優れた性能を十分に発揮させるとともに、長年支障なくご使用いただけますよう、このシステムをコントロールするアプリケーション YML System Controller の取扱方法を分かりやすく説明しています。ご使用の前に、ご一読ください。

### この取扱説明書の見方

本書では、標準的な指導手順を想定して、すべての操作を「授業準備」と「授業」の2つに分けています。「授業準備」をご覧になってから、「授業」をご覧ください。「授業準備」には、年度/学期初めや授業開始前に行なう操作について説明しています。「授業」には、授業中に使えるさまざまな機能について説明しています。操作中に困ったことが出てきたら、巻末の「困ったときは」をお読みください。

## 特長

### 教室レイアウトを模した画面で直感的な操作が可能 14ページ

実際の教室レイアウトに即した画面が表示されますので、生徒を選択して指導や検聴を行ないたい場合に、直感的に操作できます。画面上の生徒名は、出欠状態や選択状態、グループ編成に応じて色が変わりますので、画面を見れば生徒の出欠状態、グループ編成状態、現在どの生徒/グループを検聴、指導しているかなど、一目で把握することができます。

### 個人演奏と指導 23ページ

指導者は、画面上の生徒名を押して選択するだけで、その生徒の演奏を検聴することができます。そのため、クラス全員が異なる曲を練習していても、個人に合わせた円滑な指導ができます。さらに[指導]ボタンを使用することにより、その生徒を指導することもできます。

### グループ演奏と指導 24ページ

ボタンを押すだけで、教室内の全生徒を2人/4人/8人グループに編成できます。グループ内の生徒同士はお互いの声や演奏を聞くことができるため、アンサンブル合奏の練習ができます。指導者はグループの合奏を検聴して、グループ指導できます。グループの編成や人数は自由に組みかえることができます。

### 生徒の演奏を次々と自動で検聴 32ページ

自分で生徒を選択しなくとも、生徒の演奏を自動的に次々と聴くことができます。検聴時間は3秒～120秒のあいだで選ぶことができ、任意の生徒の演奏を希望する時間だけ検聴することもできます。グループ単位で次々に聴くこともできます。

### 生徒と指導者のコミュニケーション 22ページ

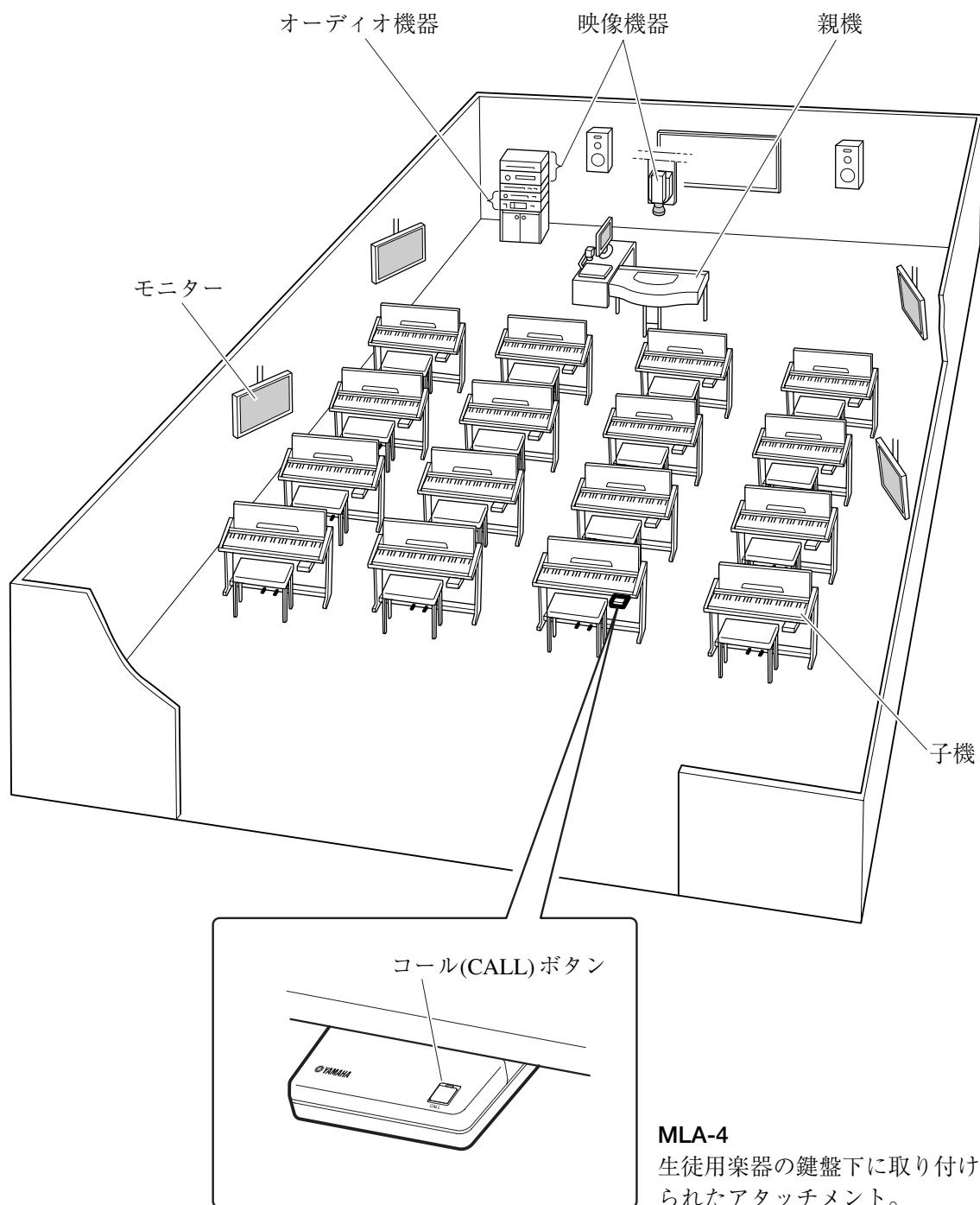
指導者用楽器(親機)と生徒用楽器(子機)との間の演奏のやりとりや会話をコントロールして、集団学習の中でも円滑な個別指導ができます。質問のある生徒から呼び出し(コール)があると、コールした生徒名が画面上で点滅します。これに応えて指導者は、指導したり演奏を聴かせることができます。

### CDやDVDの鑑賞 36ページ

外部音源や外部映像をクラス全員で鑑賞することができます。指導者の手元を教室内のモニターに映すことで、運指などを見せながら生徒に演奏指導することもできます。

# 教室レイアウト例と画面例

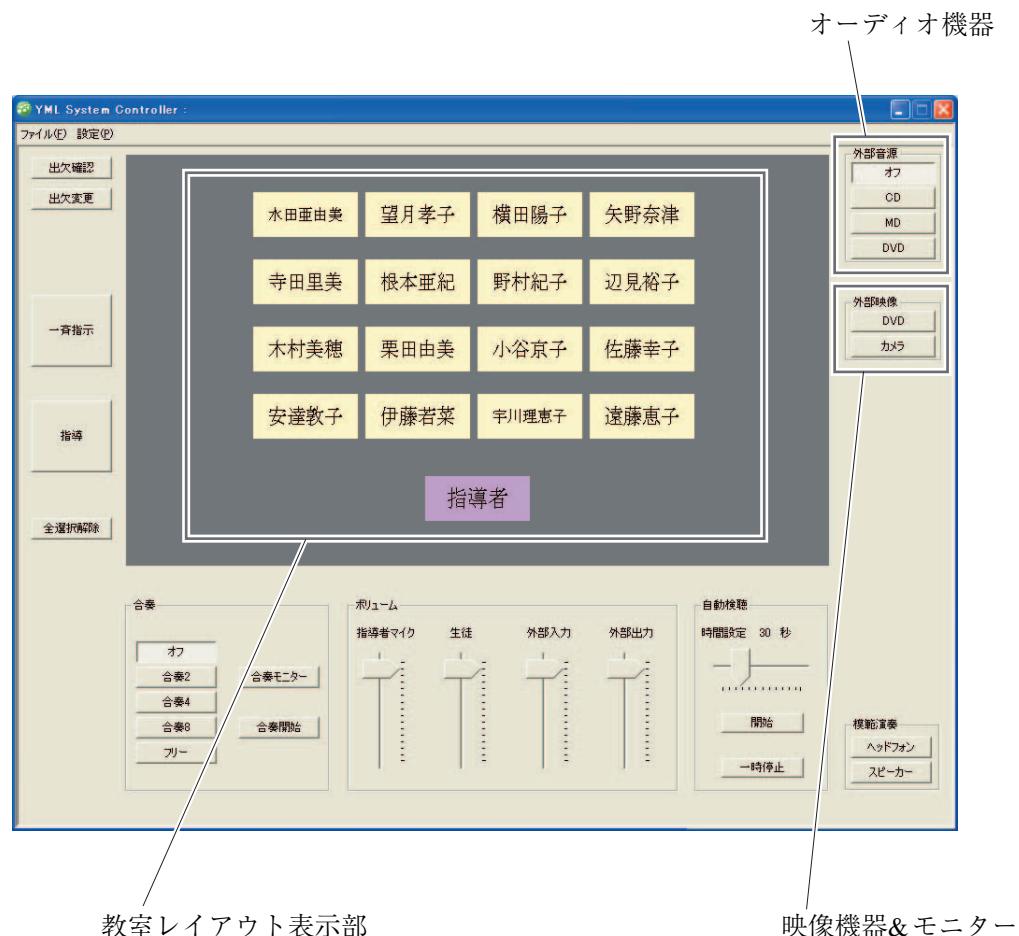
## 教室レイアウト例



## 画面例

画面はつねに、指導者から見た教室レイアウトとなります。

本書に掲載された画面は一般的な教室レイアウトを想定したものです。各教室によって教室レイアウトは異なるため、実際の画面とは異なる場合があります。



# 目 次

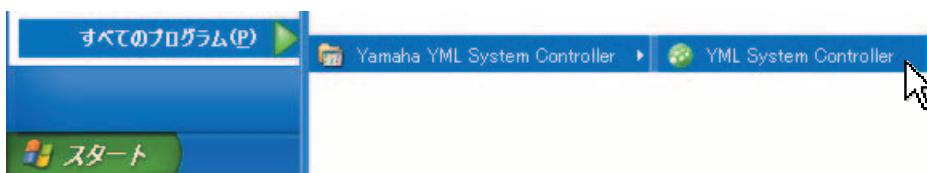
授業準備

はじめに .....	6
この取扱説明書の見方 .....	6
特長 .....	7
<b>教室レイアウト例と画面例</b>	<b>8</b>
教室レイアウト例 .....	8
画面例 .....	9
<b>アプリケーションの起動と終了</b>	<b>11</b>
<b>各部の名称とはたらき</b>	<b>12</b>
<b>画面の操作</b>	<b>14</b>
生徒の選択 .....	15
<b>クラス編成ファイルの作成 / 保存 / 読み込み</b>	<b>16</b>
作成と保存 .....	16
読み込み .....	17
<b>お手本データの転送</b>	<b>18</b>
転送された MIDI ファイルを、生徒の楽器から消去する .....	19
<b>一斉指示</b>	<b>20</b>
一斉指示による全体学習指導 .....	20
<b>出欠確認</b>	<b>21</b>
出欠状態を変更をする .....	21
<b>生徒からの呼び出し</b>	<b>22</b>
<b>個人演奏と指導</b>	<b>23</b>
<b>グループ演奏と指導</b>	<b>24</b>
ペアに対するアンサンブル指導 .....	24
4人グループに対するアンサンブル指導 .....	26
8人グループに対するアンサンブル指導 .....	28
グループの組み換え .....	30
<b>自動検聴</b>	<b>32</b>
クラス全員の検聴 .....	32
ペア / グループの検聴 .....	33
<b>模範演奏</b>	<b>34</b>
外部スピーカーで鳴らす .....	34
生徒のヘッドフォンに流す .....	34
<b>生徒楽器の音色リセット</b>	<b>35</b>
<b>CD や外部映像の鑑賞</b>	<b>36</b>
CD の鑑賞 .....	36
外部映像の鑑賞 .....	37
<b>時間外自習</b>	<b>39</b>
<b>困ったときは</b>	<b>40</b>
<b>保証とアフターサービス</b>	<b>43</b>

# アプリケーションの起動と終了

## 起動

- ① ML システム全体の電源を入れ、ML 教室備え付けのコンピューターを立ち上げます。
- ② コンピューターの画面左下にある [スタート] ボタンを押してスタートメニューを表示させ、そこから[すべてのプログラム]→[Yamaha YML System Controller] の順番にカーソルを移動して、最後に[YML System Controller]を押します。



システムが正しく認識されると、オンライン状態で以下の画面が表示されます。



## 終了

アプリケーションを終了したい場合は、画面右上の[X]ボタンを押します。

### ●画面について

出欠確認や授業中の操作はすべて、この画面を使って行ないます。

画面の操作方法は14ページ「画面の操作」をご覧ください。

### ●オンラインとオフライン

本アプリケーションにはオンライン状態、オフライン状態があります。起動時にシステムの認識に失敗すると、メッセージが表示され、オフライン状態で起動します。授業はオンライン状態でなければできませんので、メッセージにしたがって再起動を行なってください。

# 各部の名称とはたらき

**出欠確認**  
生徒全員の出欠をとりたいとき押します。(21ページ)

**出欠変更**  
退出や遅刻をした生徒の出欠状態を変更したいとき押します。(21ページ)

**楽器リセット**  
このボタンが表示されている場合は、全生徒楽器の音色をピアノの音に戻すことができます。  
ご使用の楽器によってはこの機能は使えません。(35ページ)

**一斉指示**  
生徒に一斉指示したいとき押します。(20ページ)

**指導**  
選択した生徒に指導したいとき押します。生徒と対話状態になり、お互いの演奏も聴こえます。(23、25、27、29、32、33ページ)

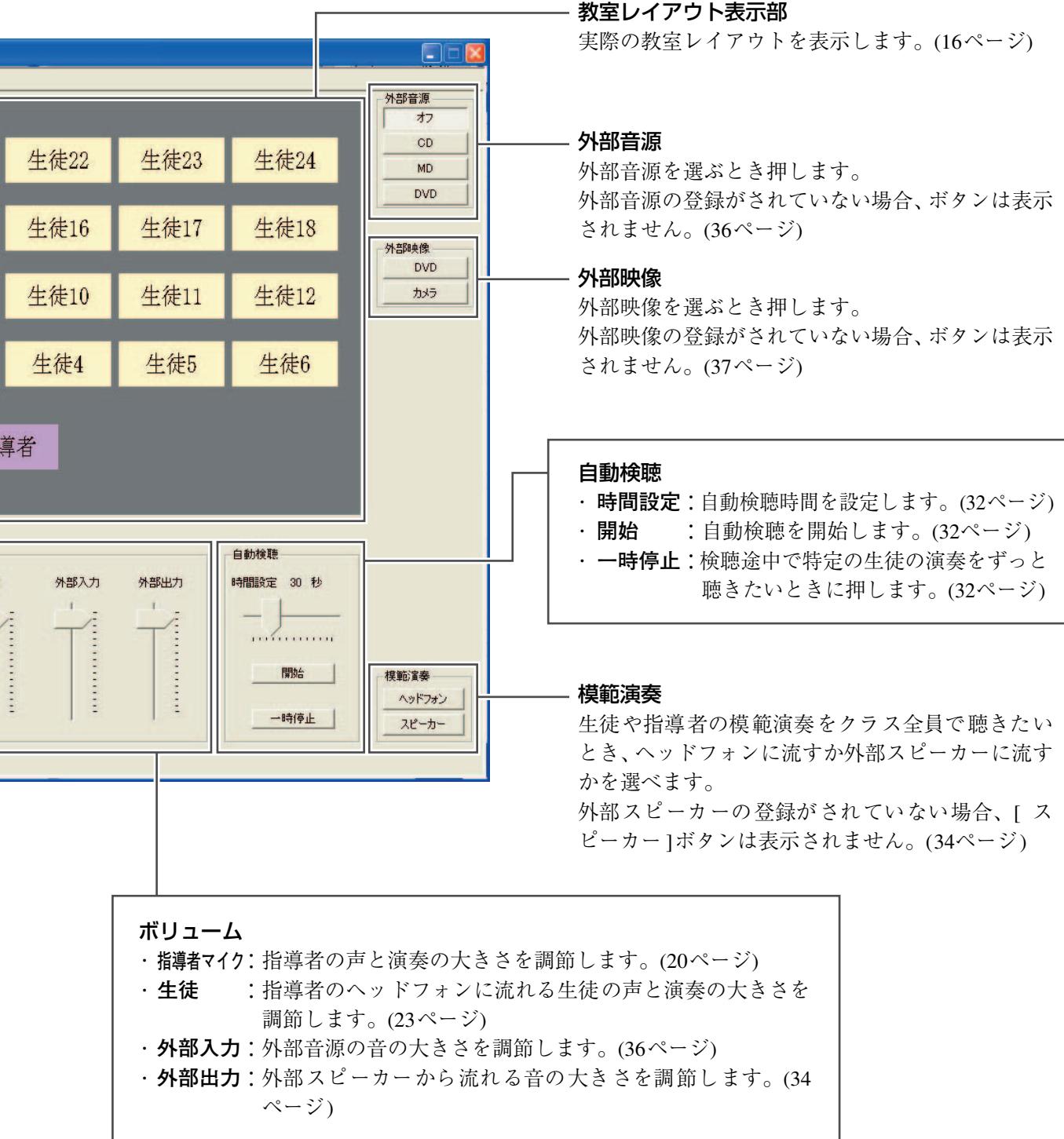
**全選択解除**  
画面上の全生徒を選択解除したいとき押します。(36ページ)

- 合奏**
- ・ **オフ** : グループ状態を解除したいとき押します。(24ページ)
  - ・ **合奏2** : クラス全員をペアにしたいとき押します。(24ページ)
  - ・ **合奏4** : クラス全員を4人ずつのグループにしたいとき押します。(26ページ)
  - ・ **合奏8** : クラス全員を8人ずつのグループにしたいとき押します。(28ページ)
  - ・ **フリー** : クラス全員を自由にグループ分けしたいとき押します。(30ページ)



**合奏モニター**  
個人かグループかの切り替えボタンです。このボタンをオンにして、ある生徒を選択すると、その生徒の所属するグループごと選択できます。(25ページ)

**合奏開始**  
グループ内で合奏したいとき押します。オンになるとグループ内の生徒同士で会話ができる、お互いの演奏が聴こえます。(24ページ)



# 画面の操作

ML教室備え付けのコンピューターはタッチパネル搭載ですので、画面上の設定/選択したいボタンや**[生徒名]**に、指で直接触って操作できます。ただし、2か所以上の点を同時に操作することはできません。  
「授業準備」で行なう操作については、細かい作業が多いため、マウスをご使用ください。



## ●オンオフを切り替えるボタン

画面に表示されるボタンを直接押すと、そのボタンはオンになります。もう一度押すとオフになります。



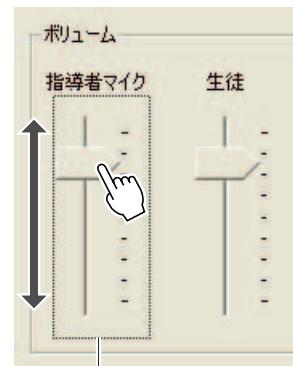
## ●リストを表示させるメニューバー

画面左上の**[ファイル]**または**[設定]**を押すとリストが表示されますので、リストの中から目的のものを押します。



## ●ボリュームと時間設定を調整するスライダー

値を変更したいスライダーのつまみ部分を指で触った状態で上下または左右に動かします。  
スライダーの溝に触ることで、触った位置につまみを動かすこともできます。



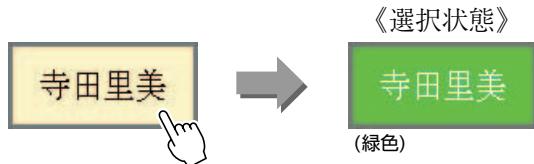
スライダーに触ると、この線が表示されます。この線が表示されてからスライダーを操作してください

## 生徒の選択

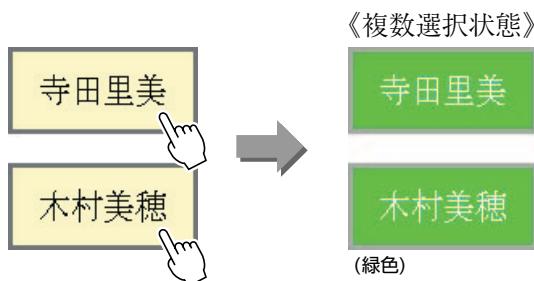
画面上の生徒やグループを選択することで、指導者はその生徒やグループの演奏を聴くことができます。

### ●個人を選択する

画面上の**[生徒名]**を押すと、その生徒を選択(緑色表示)できます。  
もう一度押すと選択解除されます。



複数の生徒を選択することもできます。



選択を解除したいときは、選択状態の**[生徒名]**をもう一度押します。

### ●グループを選択する

① 教室全体をペア/グループ分けし、ペア/グループ間でお互いの音が聴こえるようにしておきます。(24、26、28ページ参照)

5 水野美香	5 木田亜由美	6 望月孝子	6 横田陽子	6 矢野奈津	6 和田綾乃
4 谷口芳子	4 寺田里美	4 根本亜紀	4 野村紀子	5 邊見裕子	5 星野留美
2 菖西加奈子	2 木村美穂	3 栗田由美	3 小谷京子	3 佐藤幸子	3 須田茂美
1 秋本綾子	1 安達教子	1 伊藤若菜	1 宇川理恵子	2 達藤恵子	2 小田さくら

② [合奏モニター]ボタンを押してオンにしたあと、**[生徒名]**を押すと、その生徒が所属するグループごと選択されます。



3 栗田由美	3 小谷京子	3 佐藤幸子	3 須田茂美

3 栗田由美	3 小谷京子	3 佐藤幸子	3 須田茂美
(緑色)			

選択を解除したいときは、グループのいずれかの**[生徒名]**を押すと、その生徒が所属するグループごと解除されます。

# クラス編成ファイルの作成/保存/読み込み

## 作成と保存

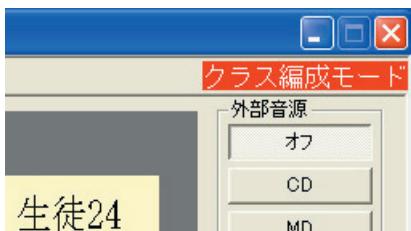
クラス編成ファイルとは、実際の教室レイアウトを模したクラス名簿のことです。MLシステムの教室を使うクラスごとに作成/保存しておき、授業直前に読み込むことで、そのクラスの生徒名を教室レイアウトどおりに画面に表示できます。実際の授業が始まるまでに作成しておきましょう。

### 操作

- ① アプリケーションを立ち上げます(11ページ)。
- ② 画面左上の[設定]メニューを押して、[クラス編成モード]を選びます。



クラス編成モード中は、メニューバーの右端に「クラス編成モード」と表示されます。

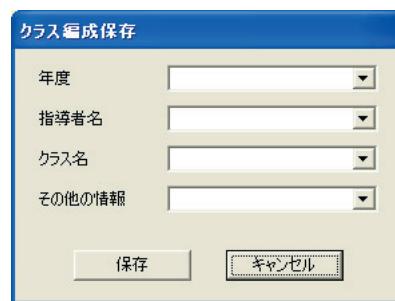


- ③ 画面に直接書き込めるようになりますので、画面上の[生徒]を押して、生徒の名前を入力します。文字入力はキーボードを使用します。書き終わったら、キーボード上の[Enter]キーを押して名前を確定します。画面上の別の[生徒]か、何もない場所を押して確定することもできます。



- ④ クラス全員の名前を入力し終わったら、もう一度、画面左上の[ファイル]メニューを押して、[クラス編成モード]を選びます。

クラス編成保存画面が表示されます。



- ⑤ 各ボックスを押して、年度、指導者名、クラス名、その他の情報を書き込みます。



- ⑥ [保存]ボタンを押して、クラス編成ファイルとして保存します。

ファイル名をキャンセルしたい場合は、[キャンセル]ボタンを押します。

クラス編成ファイル名は、各ボックスに書き込んだ文字列を上から順に“\_”(アンダーバー)で繋いだものとなります。クラス編成ファイルは、授業に際して読み込んでください(17ページ)。

## 読み込み

授業に際して、あらかじめ作成しておいたクラス編成ファイルを読み込むことで、そのクラスの生徒名を教室レイアウトどおりに画面に表示できます。

### 操作

- ① アプリケーションを立ち上げます(11ページ)。
- ② 画面左上の[ファイル]メニューを押して、[クラス編成ファイルを開く]を選びます。



- ③ クラス編成ファイルを選ぶ画面が表示されますので、読み込みたいクラス編成ファイルを選んで、[開く]ボタンを押します。



画面にクラス編成ファイルの情報が読み込まれます。



このとき、「前回のグループ編成を使用しますか?」というメッセージが表示されることがあります。これは前回保存されたクラス編成ファイルに、グループ編成情報が存在するためです。[はい]を選ぶと、前回のグループ編成状態を復元できます。[いいえ]を選ぶと前回の情報は失われます。グループ編成については24ページ「グループ演奏と指導」をご覧ください。

# お手本データの転送

授業中、あるいは自習時に学生が効率よく学習できるように、課題曲のお手本データ(MIDIファイル)を全生徒の楽器にあらかじめ送っておくことができます。生徒はお手本データを聴いて音を確認したり、片手練習するため左手のお手本演奏を聴きながら右手で演奏したりできます。

使用する楽器によっては、MIDIファイル転送機能は使えない場合があります。

## 操作

- ① 生徒用楽器およびMLシステムの電源を立ち上げます。転送したいお手本データは教室備え付けのコンピューターに入れておき、コンピューター上のアプリケーションを起動しておきます。転送先の楽器に、USBフラッシュメモリーなどの外部記憶装置が接続されていないことを確認します。接続されないと転送が行なえませんので、必ず抜いておいてください。
- ② アプリケーションの[設定]メニューを押して、[MIDIファイル転送]を選びます。



MIDIファイル転送画面が表示されます。

- ③ [追加]ボタンを押します。



- ④ ファイルを開く画面が表示されますので、[ファイルの場所]欄で追加したいファイルを保存しているドライブやフォルダーを選択し、ファイル一覧から目的のお手本データを押して反転させてから、[開く]ボタンを押します。



リストにファイルが追加されます。



転送を開始すると、ここに表示されたすべてのファイルが転送されます。転送したくないファイルまでリストに追加してしまった場合は、転送したくないファイルを選択して [削除] ボタンを押すと、転送ファイルリストから削除することができます。

- ⑤ [転送] ボタンを押します。

リスト上のファイルがすべて転送されます。



転送を中止したい場合は[中止]ボタンを押します。すでに同名のファイルが生徒の楽器に存在する場合は上書きします。

- ⑥ 転送が終わったら、画面下の[閉じる]ボタンを押して画面を閉じます。

楽器に転送されたファイルの選択方法と鳴らし方は、使用する楽器の取扱説明書をご覧ください。

本アプリケーションの機能を使って、指導者の楽器にファイルを転送することはできません。

## 転送されたMIDIファイルを、生徒の楽器から消去する

生徒楽器に転送したMIDIファイルのうち、不要になったファイルを選んで消去できます。

### 操作

- ① アプリケーションの[設定]メニューを押して、[MIDIファイル消去]を選択します。



- ② MIDIファイル消去画面が表示されます。



以前転送したMIDIファイルのリストが表示されています。

- ③ 消去したいファイル名を選んで、[消去]ボタンを押します。



消去するかどうか確認を求めるメッセージが表示されますので、[はい]を選びます。消去したくないときは[いいえ]を選びます。

- ④ 消去が終わったら、画面下の[閉じる]ボタンを押して画面を閉じます。

# 一斉指示

これ以降、授業中は生徒と指導者がマイク付きのヘッドフォンを装着しているものとして説明します。

授業中、生徒全員に一斉に指示したいときにこの機能を使います。

## 一斉指示による全体学習指導

### 授業展開例

1. 学習内容の全体説明
2. 理論、伴奏付けなどの説明と課題の取り組み方法
3. 演奏実習についての技術、運指、表現などの説明
4. 指導者の模範演奏を聴かせる
5. 授業中に全体説明が必要であったり、次のステップに進める場合など

### 解除

もう一度、[一斉指示]ボタンを押してオフにします。

### 操作

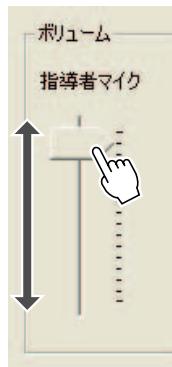
[一斉指示]ボタンを押してオンにします。



このときヘッドフォンに付いたマイクでしゃべると、指導者の声が生徒全員のヘッドフォンから流れますので、必要な指示や説明を行ないます。指導者が楽器を弾くとその音も同時に流れます。

一斉指示のあいだは、生徒は自分の楽器を弾いても、その音はヘッドフォンから聴こえません。

指導者の声の大きさは、[指導者マイク]スライダーで調節することができます。



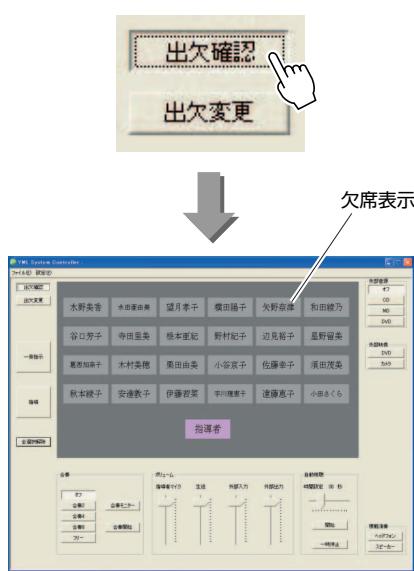
大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

# 出欠確認

授業中、一斉に生徒の出欠を確認したいときにこの機能を使います。

## 操作

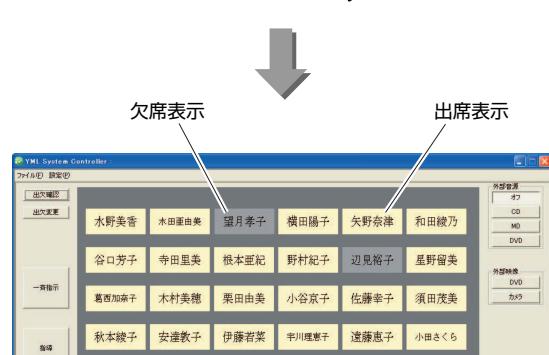
- ① [出欠確認]ボタンを押してオンにします。  
出欠確認を開始するかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。[はい]を選ぶと出欠確認モードに入り、全生徒名がいったん欠席(灰色)表示になります。



- ② 出欠確認をするために、ヘッドフォンに付いたマイクで、生徒全員にMLA-4の[コール]ボタンを押すよう指示します。

MLA-4の[コール]ボタンのランプが点灯し、[コール]ボタンを押した生徒の名前が、画面上で出席(黄色)状態に変わります。

《生徒側》



出欠確認中は、生徒からの呼び出し(コール)はできません。

## 解除

出欠状態に間違いがないか確認したあと、[出欠確認]ボタンを押してオフにします。

## 出欠状態を変更をする

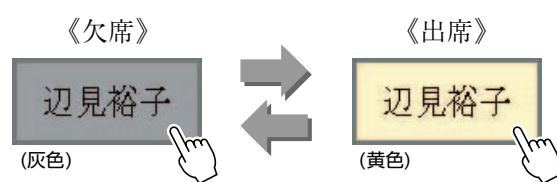
出欠確認を終えたあと、遅刻、早退によって生徒の出欠状態を変更しなければならない場合があります。この場合、以下の操作によって該当する生徒の出欠状態だけを変更できます。

## 操作

- ① [出欠変更]ボタンを押して、出欠変更をオンにします。



- ② 出欠を変更したい[生徒名]を画面上で押して、出欠状態を変更します。  
押すたびに出席と欠席が切り替わります。



## 解除

[出欠変更]ボタンを押して、出欠変更をオフにします。

## ヒント

出欠確認を終えたあと、遅刻してきた生徒が、自席のMLA-4の[コール]ボタンを押すことでも、欠席状態だった画面上の生徒名は出席状態に変えられます。

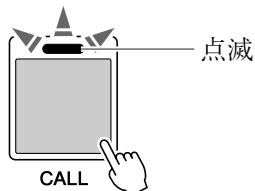
# 生徒からの呼び出し

質問などのある生徒からの呼び出し(コール)に応えて、個別またはその生徒のいるグループ全員に指導することができます。生徒にはあらかじめ、質問などがある場合は、MLA-4 のコールボタンを押すように教えておきましょう。このボタンを使うことで、指導者と対話ができます。

## 操作

- ① 生徒がMLA-4の[コール]ボタンを押して指導者を呼ぶと、その生徒の名前が画面上で点滅します。

《生徒側》



《点滅状態》



このとき、生徒が押した[コール]ボタンのランプも点滅状態になります。お使いのコンピューターによっては、コンピューター内蔵の音が鳴ってコールを知らせる場合もあります。

複数の生徒が[コール]ボタンを押した場合、押した生徒全員の[生徒名]が画面上で点滅します。

- ② 点滅中の[生徒名]を押すと、応答状態(赤色表示)になりますので、生徒の質問などに応えます。応答は1人ずつです。応答状態になったら、MLA-4のランプは点滅状態から点灯状態に変わります。

《応答状態》



## 解除

生徒への応答が終わったら、応答状態(赤色表示)の[生徒名]を押して、応答を終了します。応答を終了したら、生徒名は黄色に戻り、MLA-4のランプも消灯します。

《応答状態》



《解除》



# 個人演奏と指導

クラス全員が異なる曲を練習していても、生徒の演奏、課題達成状況を検聴して個別指導できます。

## 操作

- ① 検聴したい生徒名を押して選択状態にします。  
これで、選択した生徒の演奏と声が聴こえるようになります。

《選択状態》



ヘッドフォンに流れる生徒の演奏や、声の大きさは、[生徒]スライダーで調節することができます。



- ② 選択された生徒に指導するときは、[指導]ボタンを押してオンにします。  
これで、その生徒と会話もでき、指導者の演奏を聴かせることもできます。



## 解除

[指導]ボタンを押してオフにします。この場合、指導者の指示、演奏のみが解除されます。選択されている生徒の検聴を終わる場合は、生徒名を押して選択を解除させます。

### ✓ ヒント

#### 弾き語りをMDに録音する

MLA-4のAUX OUT(Level Fix)端子とMDのLINE IN端子を接続しておくと、歌とともに、楽器演奏をクリアに録音できます。

# グループ演奏と指導

## ペアに対するアンサンブル指導

生徒は2人1組になり、1つの曲を連弾したり、同じ曲をお互いに聴いて感想を述べ合ったりできます。指導者はペアの演奏を聴いて、指導することができます。

### 2人1組の組み合せによる授業展開

1. ピアノの2段譜を右手、左手パートに分けて2台で練習する
2. 4手連弾譜で合奏練習する
3. 伴奏形の練習でメロディーと伴奏に分けて練習する
4. 音色別に2台でアンサンブル練習する

### 操作

#### 教室全体をペアにする

- ① 画面の[合奏2]ボタンを押します。



10 水野美香	10 水田亜由美	11 望月孝子	12 横田陽子	12 矢野奈津	13 和田綾乃
7 谷口芳子	7 寺田里美	8 根本亜紀	8 野村紀子	9 邊見裕子	9 星野留美
4 葛西加奈子	4 木村美穂	5 栗田由美	5 小谷京子	6 佐藤幸子	6 須田茂美
1 秋本綾子	1 安達教子	2 伊藤若菜	2 宇川理恵子	3 遠藤恵子	3 小田さくら

教室の生徒が2人1組のペアとなります。生徒名の左上に、所属するグループの番号が表示され、同じグループの生徒には同じグループ番号がつきます。

ペアの色は8色までです。たとえば24人をペアにした場合、色の異なるペアが8組でき、あとの4組は最初の色から繰り返して割り当てられます。

欠席者がいる場合、ペアに設定しても相手のいない生徒が出ることがあります。その場合、指導者は指導状態(23ページ参照)にすることで、その生徒とペアを組むことができます。あるいは画面の[生徒名]をドラッグ＆ドロップ(31ページ参照)することで、相手のいない生徒を別のペアに所属させ、3人編成にすることもできます。31ページ「編成後のグループを組み換える場合」をご覧ください。

#### ●解除したい場合は

合奏の[オフ]ボタンを押すと、ペア状態が解除されます。



#### ペア同士で音が聴こえるようにする

- ② 教室全体をペアにしてから、[合奏開始]ボタンを押してオンにします。



ペアとなった2人の間では会話ができ、お互いの演奏も聴けるようになります。

次の楽曲をペア全員に合奏させてみてください。

*Allegretto*

かわいいオーガスチン  
(ドイツ民謡)

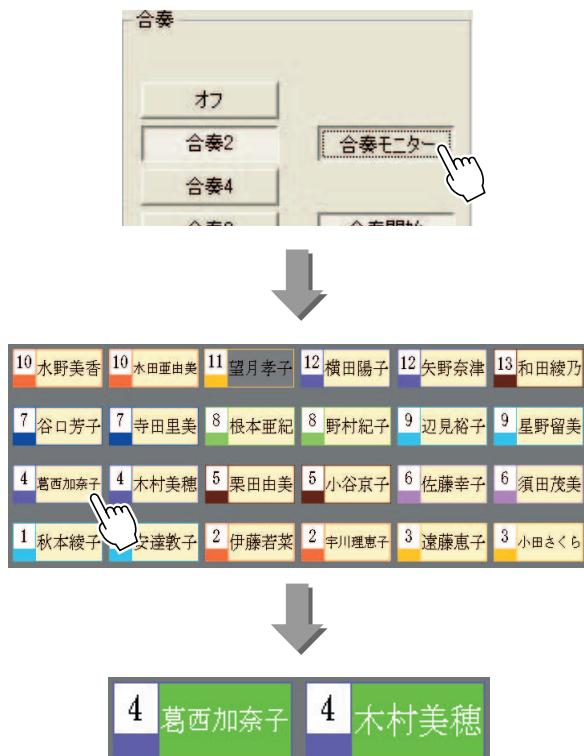
右側

左側

指導者は、以下の操作によって各ペアを検聴し、各自の楽器の音量バランスなどについて指導します。音量バランスが良くない場合は、各自の楽器の音量(マスター・ボリューム)を調節するよう指導してください。

### ペア選択

- ③ ペアを選択状態(緑色表示)にすることで、ペアの演奏を聴くことができます。[合奏モニター]ボタンを押してオンにしたあと、ペアのどちらかの生徒を押してペアを選択状態にします。



別のペアを聴きたい場合は、現在選択中のペアの、どちらかの生徒を押して選択を解除したあと、新しく聴きたいペアのどちらかの生徒を押してペアを選択します。

### ペア指導

- ④ このとき【指導】ボタンを押してオンになると、指導者はその2人の生徒と会話もでき、演奏に加わることもできます。指導を解除したいときは、もう一度【指導】ボタンを押してオフにします。



選択中のペアのどちらかの生徒だけを聴きたい場合は、[合奏モニター]ボタンをオフにします。これで個人単位で選択 / 解除できるようになりますので、聴きたい生徒だけが緑色(選択状態)になるようになります。(15ページ「●個人を選択する」参照)

### 解 除

現在選択中のペアの、どちらかの生徒を押して選択を解除します。これで、ペアの演奏は指導者には聴こえなくなります。

[合奏モニター]ボタンを押してオフにします。これで、画面上の生徒を押してもペアではなく、押した生徒だけが選択されるようになります。

さらに、[合奏開始]ボタンを押してオフにします。これで、生徒はお互いの演奏が聴こえなくなり、自分の演奏音だけが聴こえます。

## 4人グループに対するアンサンブル指導

4人1組のグループになり、1つの曲を連弾したり、同じ曲をグループ全員で聴いて感想を述べ合ったりできます。指導者はグループの演奏を聴いて、指導することができます。

### 4人1組の組み合せによる授業展開

1. 4パートのアンサンブル譜の練習
2. 4手連弾の教材を4人の生徒が1手パートずつ演奏する
3. 3VOICEのメロディーと2段ピアノ譜の練習
4. 理論、作曲の授業の時、アンサンブルで書かれた曲の音出しと響きの確認

### 操作

#### 教室全体を4人グループに分ける

- ① 画面の[合奏4]ボタンを押します。



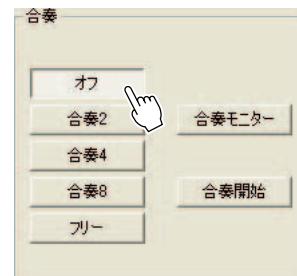
5 水野美香	5 木田亜由美	6 望月孝子	6 横田陽子	6 矢野奈津	6 和田綾乃
4 谷口芳子	4 寺田里美	4 根本亜紀	4 野村紀子	5 邊見裕子	5 星野留美
2 葛西加奈子	2 木村美穂	3 栗田由美	3 小谷京子	3 佐藤幸子	3 須田茂美
1 秋本綾子	1 安達教子	1 伊藤若菜	1 宇川理恵子	2 遠藤恵子	2 小田さくら

教室の生徒が4人1組のグループとなります。生徒名の左上に、所属するグループの番号が表示され、同じグループの生徒には同じグループ番号がつきます。色の割り当ては8色までで、ペアのときと同じ仕組みです。

教室人数などにより、人数が足りないグループが出ることがあります。この場合、画面の[生徒名]をドラッグ & ドロップすることで自由にグループを変え、グループの人数を調整することができます。31ページ「編成後のグループを組み換える場合」をご覧ください。

### ●解除したい場合は

合奏の[オフ]ボタンを押すと、グループ状態が解除されます。



### グループ間で音が聴こえるようにする

- ② 教室全体をグループ状態にしてから、[合奏開始]ボタンを押してオンにします。



同じグループの生徒の間では会話ができ、お互いの演奏が聴けるようになります。

## 次の楽曲を、4人グループ全員にアンサンブルさせてみてください。

生徒は1人1パートを弾きます。例えば、ソプラノを1番の生徒、アルトを2番の生徒、テナーを3番の生徒、バスを4番の生徒が弾きます。1番の生徒が首や体の動きでテンポを表現しリードしながらアンサンブルを行ないます。各楽器の音量はお互いに考えさせたり、いくつかの音色を組み合わせたりするのもよいでしょう。

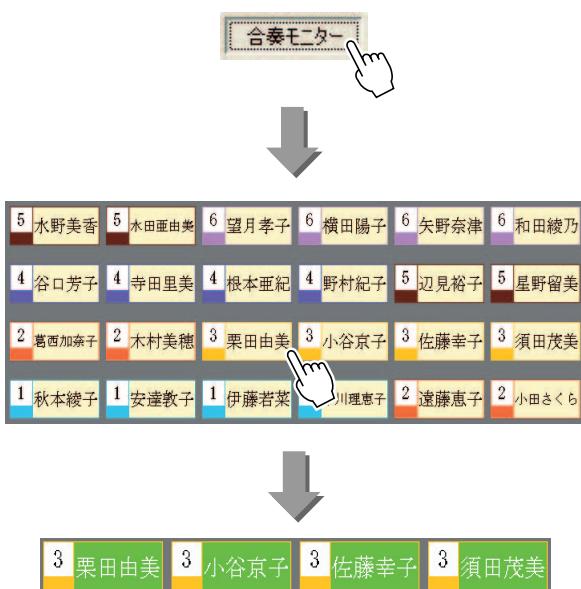
**真実の愛**  
(ドイツ民謡)

*Andante*

指導者は、以下の操作によって各グループを検聴し各自の楽器の音量バランスなどについて指導します。音量バランスが良くない場合は、各自の楽器の音量(マスター音量)を調節するよう指導してください。

### グループ選択

- ③ グループを選択状態(緑色表示)にすることで、グループの演奏を聴くことができます。[合奏モニター]ボタンを押してオンにしたあと、グループのいずれかの生徒を押してグループごと選択状態にします。



別のグループを聴きたい場合は、現在選択中のグループの、いずれかの生徒を押して選択を解除したあと、新しく聴きたいグループのいずれかの生徒を押してグループを選択します。

### グループ指導

- ④ このとき[指導]ボタンを押してオンになると、指導者はその4人の生徒と会話もでき、演奏に加わることもできます。指導を解除したいときは、もう一度[指導]ボタンを押してオフにします。

選択中のグループ内の特定の生徒だけを聴きたい場合は、[合奏モニター]ボタンをオフにします。これで、個人単位で選択/解除できるようになりますので、聴きたい生徒だけが緑色(選択状態)になるようになります。(15ページ「●個人を選択する」参照)

### 解 除

現在選択中のグループの、いずれかの生徒を押して選択を解除します。これで、グループの演奏は指導者には聴こえなくなります。

[合奏モニター]ボタンを押してオフにします。これで、画面上の生徒を押してもグループではなく、押した生徒だけが選択されるようになります。

さらに、[合奏開始]ボタンを押してオフにします。これで、生徒はお互いの演奏が聴こえなくなり、自分の演奏音だけが聴こえます。

## 8人グループに対するアンサンブル指導

8人1組のグループになり、1つの曲を連弾したり、同じ曲をグループ全員で聴いて感想を述べ合ったりできます。8人グループの場合も、4人グループのときと同様に、パートの割り当てを考えてアンサンブルを行ないます。指導者はグループの演奏を聴いて、指導することができます。

### 操作

教室全体を8人グループに分ける

- ① 画面の[合奏8]ボタンを押します。



3 水野美香	3 水田亜由美	3 望月孝子	3 横田陽子	3 矢野奈津	3 和田綾乃
2 谷口芳子	2 寺田里美	2 根本亜紀	2 野村紀子	3 邊見裕子	3 星野留美
1 葛西加奈子	1 木村美穂	2 栗田由美	2 小谷京子	2 佐藤幸子	2 須田茂美
1 秋本綾子	1 安達敦子	1 伊藤若菜	1 宇川理恵子	1 遠藤恵子	1 小田さくら

教室の生徒が8人1組のグループとなります。生徒名の左上に、所属するグループの番号が表示され、同じグループの生徒には同じグループ番号がつきます。色の割り当ては8色までで、ペアのときと同じ仕組みです。

教室人数などにより、人数が足りないグループが出ることがあります。この場合、画面の[生徒名]をドラッグ & ドロップすることで自由にグループを変え、グループの人数を調整することができます。31ページ「編成後のグループを組み換える場合」をご覧ください。

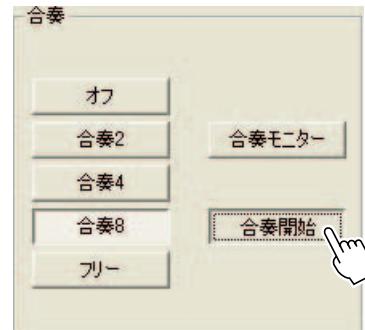
### ●解除したい場合は

合奏の[オフ]ボタンを押すと、グループ状態が解除されます。



### グループ間で音が聴こえるようにする

- ② 教室全体をグループ状態にしてから、[合奏開始]ボタンを押してオンにします。

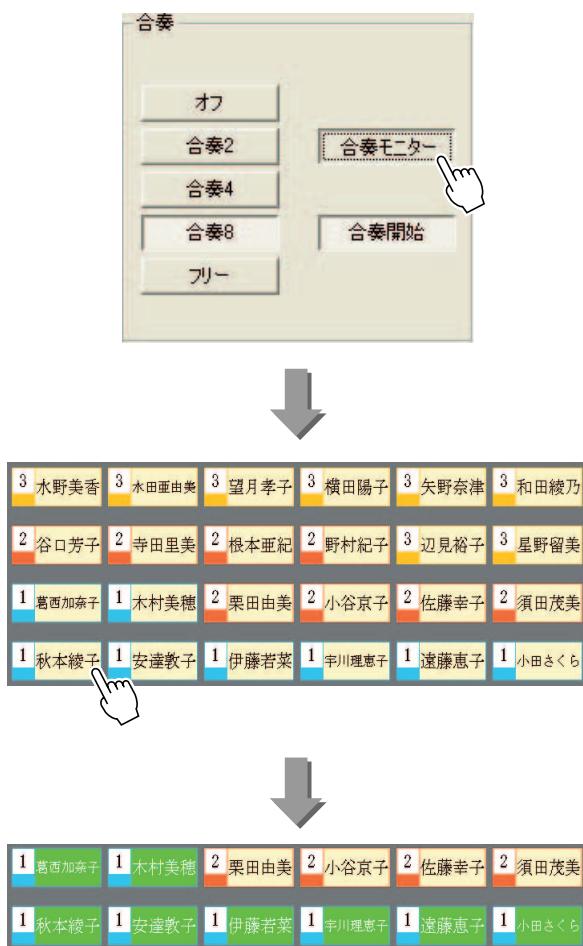


同じグループの生徒の間では会話ができ、お互いの演奏が聴けるようになります。

指導者は、以下の操作によって各グループを検聴し各自の楽器の音量バランスなどについて指導します。音量バランスが良くない場合は、各自の楽器の音量(マスター・ボリューム)を調節するよう指導してください。

### グループ選択

- ③ グループの合奏を聴くには、そのグループを選択する必要があります。[合奏モニター]ボタンを押してオンにしたあと、グループのいずれかの生徒を押してグループごと選択状態にします。



別のグループを聴きたい場合は、現在選択中のグループの、いずれかの生徒を押して選択を解除したあと、新しく聴きたいグループのいずれかの生徒を押してグループを選択します。

### グループ指導

- ④ このとき[指導]ボタンを押してオンになると、指導者はその8人の生徒と会話もでき、演奏に加わることもできます。指導を解除したいときは、もう一度[指導]ボタンを押してオフにします。



選択中のグループ内の特定の生徒だけを聴きたい場合は、[合奏モニター]ボタンをオフにします。これで個人単位で選択/解除できるようになりますので、聴きたい生徒だけが緑色(選択状態)になるようになります。(15ページ「●個人を選択する」参照)

### 解 除

現在選択中のグループの、いずれかの生徒を押して選択を解除します。これで、グループの演奏は指導者には聴こえなくなります。

[合奏モニター]ボタンを押してオフにします。これで、画面上の生徒を押してもグループではなく、押した生徒だけが選択されるようになります。

さらに、[合奏開始]ボタンを押してオフにします。これで、生徒はお互いの演奏が聴こえなくなり、自分の演奏音だけが聴こえます。

## グループの組み換え

生徒の組み合わせや人数を自由に変えてグループ編成することができます。いったんグループ編成したあとでも、構成を自由に変えられるので、欠席者などにより人数が足りないグループ同士をまとめたりする場合に大変便利です。最初から自由にグループ編成する方法と、編成後にグループを組み換える方法があります。

### 最初から自由にグループ編成したい場合

#### 操作

- ① 画面の[フリー]ボタンを押します。

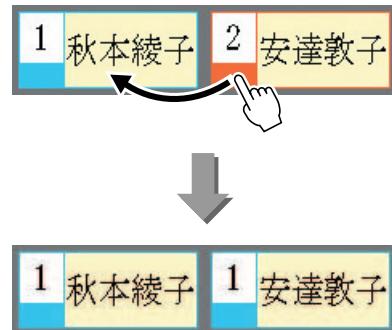


教室の生徒が1人1組のグループとなります。生徒名の左上に表示されるグループ番号はそれぞれ異なります。色の割り当ては8色まで、ペアのときと同じ仕組みです。

19 水野美香	20 水田亜由美	21 望月孝子	22 横田陽子	23 矢野奈津	24 和田綾乃
13 谷口芳子	14 寺田里美	15 根本亜紀	16 野村紀子	17 邊見裕子	18 星野留美
7 葛西加奈子	8 木村美穂	9 栗田由美	10 小谷京子	11 佐藤幸子	12 須田茂美
1 秋本綾子	2 安達教子	3 伊藤若菜	4 宇川理恵子	5 遠藤恵子	6 小田さくら

グループ状態のとき、画面の[生徒名]をドラッグ＆ドロップすることで自由にグループを変えられます。

- ② 動かしたい[生徒名]にタッチし、そのまま指をスライド(ドラッグ)させて、所属させたいグループのいずれかの[生徒名]に重ね合わせるようにして、そこで指を離します(ドロップ)。



[生徒名]のグループ番号と色が、所属させたグループの番号と数字に変わります。

- ③ 手順 ② を繰り返して自由にグループ編成を行ないます。

4 葛西加奈子	4 木村美穂	5 栗田由美	5 小谷京子	6 佐藤幸子	6 須田茂美
1 秋本綾子	1 安達教子	2 伊藤若菜	2 宇川理恵子	3 遠藤恵子	3 小田さくら

グループごとに人数を変えることもできます。

#### 解 除

合奏の[オフ]ボタンを押すと、グループ状態が解除されます。



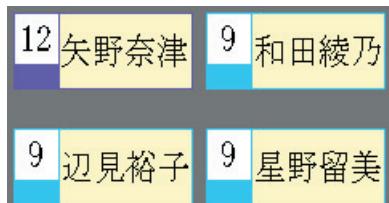
## 編成後のグループを組み換える場合

### 操作

- ① 動かしたい[生徒名]にタッチし、そのまま指をスライド(ドラッグ)させて、所属させたいグループのいずれかの[生徒名]に重ね合わせるようにして、そこで指を離します(ドロップ)。



[生徒名]のグループ番号と色が、所属させたグループの番号と数字に変わります。



- ② 手順①を繰り返して自由にグループ編成を行ないます。

10 水野美香	10 水田亜由美	11 望月孝子	12 横田陽子	12 矢野奈津	9 和田綾乃
7 谷口芳子	7 寺田里美	8 根本亜紀	8 野村紀子	9 辻見裕子	9 星野留美
4 萩西加奈子	4 木村美穂	5 栗田由美	5 小谷京子	6 佐藤幸子	6 須田茂美
1 秋本綾子	1 安達教子	2 伊藤若菜	2 宇川理恵子	3 遠藤恵子	3 小田さくら

グループごとに人数を変えることもできます。

### 解 除

合奏の[オフ]ボタンを押すと、グループ状態が解除されます。



### ●グループ編成の記憶と再現

グループ編成を行なうと、その情報は、アプリケーション終了時に、自動的にクラス編成ファイルに保存されます。次回アプリケーションを立ち上げた際、「前回のグループ編成を使用しますか?」というメッセージが表示されます。[はい]を選ぶと、前回のグループ編成状態を復元できます。[いいえ]を選ぶと前回の情報は失われます。

前回の情報を使用した場合、合奏の[合奏2]/[合奏4]/[合奏8]/[フリー]ボタンのいずれかを押すと、前回のグループ編成の状態を呼び出すことができます。

グループ編成に変更を加えなくても、前回のグループ編成情報を使用した場合や、[合奏2]/[合奏4]/[合奏8]/[フリー]ボタンのいずれかを押した場合は、それがグループ編成情報としてクラス編成ファイルに保存されるため、次回アプリケーションを立ち上げた際、上記のメッセージが表示されます。

# 自動検聴

## クラス全員の検聴

生徒を選択しなくても、全生徒の演奏を自動的に次々と聴くことができます。生徒の演奏、課題達成の全体状況を把握したいときにこの機能を使います。

### 操作

#### 検聴時間のセット

- ① 生徒一人当たりの検聴時間を、画面の自動検聴グループ内にある**[時間設定]**スライダーを動かすことで変更できます。設定範囲は3秒～120秒です。



#### 検聴開始

- ② 画面上で選択状態の生徒がいないことを確認したあと、自動検聴**[開始]**ボタンを押します。



生徒1人1人の演奏を、セットした秒数だけ次々と聴くことができます。検聴中の生徒は、画面上で緑色表示されます。欠席の生徒は自動的に飛ばされます。最後の生徒が終わると自動的に最初の生徒に戻って検聴を続けます。

### 解除

もう一度、自動検聴**[開始]**ボタンを押してオフにします。

- 現在検聴している生徒の演奏を、続けて聴きたい場合は

自動検聴**[一時停止]**ボタンを押してオンにします。



その生徒の演奏を続けて聴くことができます。もう一度**[一時停止]**ボタンを押してオフにすると、そのとき選択中だった生徒から、指定された秒数による自動検聴が再開します。

- 検聴する生徒を変更したい場合は

検聴したい生徒名を押して選択状態(緑色)にします。以降はその生徒から順に1人ずつ、指定された検聴時間だけ聴くことができます。

- 検聴中の生徒を指導したい場合は

**[指導]**ボタンを押してオンにすると、その生徒と対話状態になり、お互いの演奏を聴くことができます。指導中、検聴機能は一時停止しますが、もう一度**[指導]**ボタンを押してオフにすると、その時点で選択状態である生徒から順に再開します。

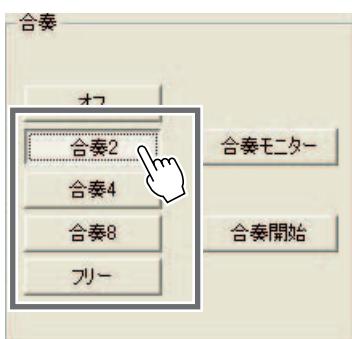
## ペア/グループの検聴

生徒のアンサンブル合奏を、グループ単位で自動的に次々と聴くことができます。

### 操作

#### 教室全体をグループに分ける

- ① 合奏の[合奏2]/[合奏4]/[合奏8]/[フリー]のいずれかのボタンを押し、生徒をグループ分けします。



この時点では生徒は自分の演奏しか聴こえません。

- ② [合奏開始]ボタンを押してオンにします。  
グループ内の生徒同士はお互いの音が聴こえる状態になります。



- ③ [合奏モニター]ボタンをオンにします。



#### 検聴開始

- ④ 自動検聴[開始]ボタンを押します。



グループが選択状態になります。指導者はグループ内全員の合奏を聴くことができます。指定された秒数だけ検聴すると、自動的に別のグループへ移って同じようにセットした秒数だけ聴くことができます。[合奏モニター]ボタンを押してオン/オフを切り替えるたびに、検聴対象をオン：グループ合奏、オフ：個人演奏に切り替えられます。検聴中のグループは、画面上で緑色表示されます。最後のグループが終わると自動的に最初のグループに戻って検聴を続けます。

### 解除

もう一度、自動検聴[開始]ボタンを押してオフにします。

- 現在検聴しているグループの演奏を、続けて聴きたい場合は

自動検聴[一時停止]ボタンを押してオンにします。



もう一度[一時停止]ボタンを押してオフにすると、そのとき選択中だったグループから、指定された秒数による自動検聴が再開します。

- 検聴するグループを変更したい場合は

検聴したいグループに所属するいずれかの生徒名を押して、グループを選択状態にします。以降はそのグループから順番に、指定された検聴時間だけ聴くことができます。

- 検聴中のグループを指導したい場合は

[指導]ボタンを押してオンにすると、そのグループ全員と対話状態になり、グループに対して指導できます。

指導中、検聴機能は一時停止しますが、もう一度[指導]ボタンを押してオフにすると、その時点で選択状態であるグループから順に検聴を再開します。

グループの中の一人だけに指導したい場合は、[合奏モニター]ボタンをオフにして指導したい生徒だけをあらためて選択します。

# 模範演奏

## 外部スピーカーで鳴らす

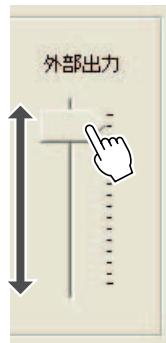
模範演奏者を選んで、その演奏と声を、外部スピーカーで鳴らしてクラス全員に聴かせることができます。模範演奏者には、クラスの生徒やグループ、指導者のいずれからも選べます。

### 操作

- ① 模範演奏者を選択します。
  - ・指導者の演奏を聴かせる場合は、指導者は【全選択解除】ボタンを押して、全生徒を選択解除しておきます。
  - ・生徒の演奏を聴かせる場合は、指導者は全生徒に聴かせたい生徒を画面上で選択します。
  - ・ペア / グループの演奏を聴かせる場合は、指導者は全生徒に聴かせたいペア / グループを画面上で選択します。
- ② 模範演奏の【スピーカー】ボタンを押します。  
手順①で選んだ模範演奏者の演奏と声が、外部スピーカーから流れます。  
外部スピーカーの登録がされていない場合、[スピーカー]ボタンは表示されません。



外部スピーカーから流れる音の大きさは[外部出力]スライダーで調整できます。



### 解除

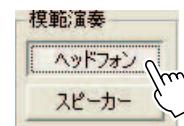
模範演奏の【スピーカー】ボタンをもう一度押してオフにします。

## 生徒のヘッドフォンに流す

模範演奏者を選んで、その演奏と声を、生徒のヘッドフォンに流してクラス全員に聴かせることができます。模範演奏者には、クラスの生徒やグループ、指導者のいずれからも選べます。

### 操作

- ① 模範演奏者を選択します。  
選び方は「外部スピーカーで鳴らす」場合とまったく同じ操作です。
- ② 模範演奏の【ヘッドフォン】ボタンを押します。  
手順①で選んだ模範演奏者の演奏と声が、全生徒のヘッドフォンに流れます。



### 解除

模範演奏の【ヘッドフォン】ボタンをもう一度押してオフにします。

# 生徒楽器の音色リセット

画面に**[楽器リセット]**ボタンが表示されている場合は、このボタンを押すことで全生徒楽器の音色を電源立ち上げ時のピアノの音に戻すことができます。授業前に生徒が好きな音色で自習していた場合などは、授業開始後、この機能を使うと便利です。

ただしご使用の楽器によってはこの機能は使用できません。

- ① [楽器リセット]ボタンを押します。



全生徒楽器の音色がピアノの音に戻ります。

# CDや外部映像の鑑賞

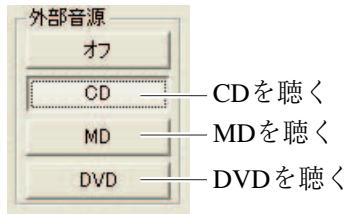
## CDの鑑賞

MLシステムを使って、CDやMDを外部スピーカーで鳴らしたり、生徒のヘッドフォンに流して鑑賞することができます。

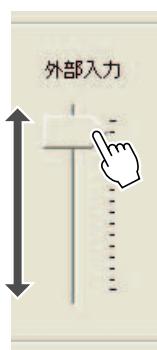
### 操作

- ① [全選択解除]ボタンを押して、全生徒を選択解除しておきます。  
生徒が選択されていると、その生徒の音がCDと一緒に流れてしまいます。
- ② 画面上の外部音源で[オフ]以外のボタンを押してオンにします。  
外部音源の登録がされていない場合、ボタンは表示されません。  
外部音源のボタン名は教室によって異なります。

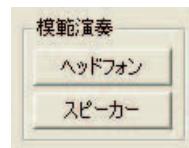
《例》



この時点ではまだ生徒は外部音源の音は聴こえません。指導者のみ外部音源をヘッドフォンで聴くことができますので、音量を[外部入力]スライダーで調整します。

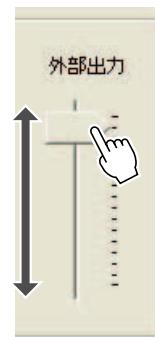


- ③ 外部音源の音を外部スピーカーで鳴らすか、全生徒のヘッドフォンに流すかを選びます。
  - ・外部スピーカーで鳴らしたい場合は、模範演奏の[スピーカー]ボタンを押してオンにします。
  - ・全生徒のヘッドフォンに流したい場合は、模範演奏の[ヘッドフォン]ボタンを押してオンにします。



音が、外部スピーカーまたは全生徒のヘッドフォンから流れます。このとき指導者は、自分の演奏も、外部音源の音と一緒に流すことができます。

外部スピーカーから音を流している場合、[外部出力]スライダーを使って、外部スピーカーから出る音の大きさを調節することができます。



### 解除

模範演奏の[スピーカー]または[ヘッドフォン]ボタンをもう一度押してオフにします。

## 外部映像の鑑賞

MLシステムを使ってDVDなどの外部映像をモニターに映し、生徒と鑑賞することができます。ML教室に、指導者の手元を移すカメラが備え付けてある場合は、その映像を教室内のスクリーンモニターに映して演奏指導することもできます。

### 操作

- ① 画面上の外部映像のボタンを押してオンにします。  
外部映像のボタンには、あらかじめ使用する映像機器と、その映像が出力されるモニターの組みあわせがセットされていますので、見たい組み合わせのものを選びます。  
**外部映像の登録がされていない場合、ボタンは表示されません。**  
外部映像のボタン名は教室によって異なります。

《例》



DVDのように音と一緒に鳴らす必要がある場合は、外部音源のDVDに対応したボタンを押してオンにします。

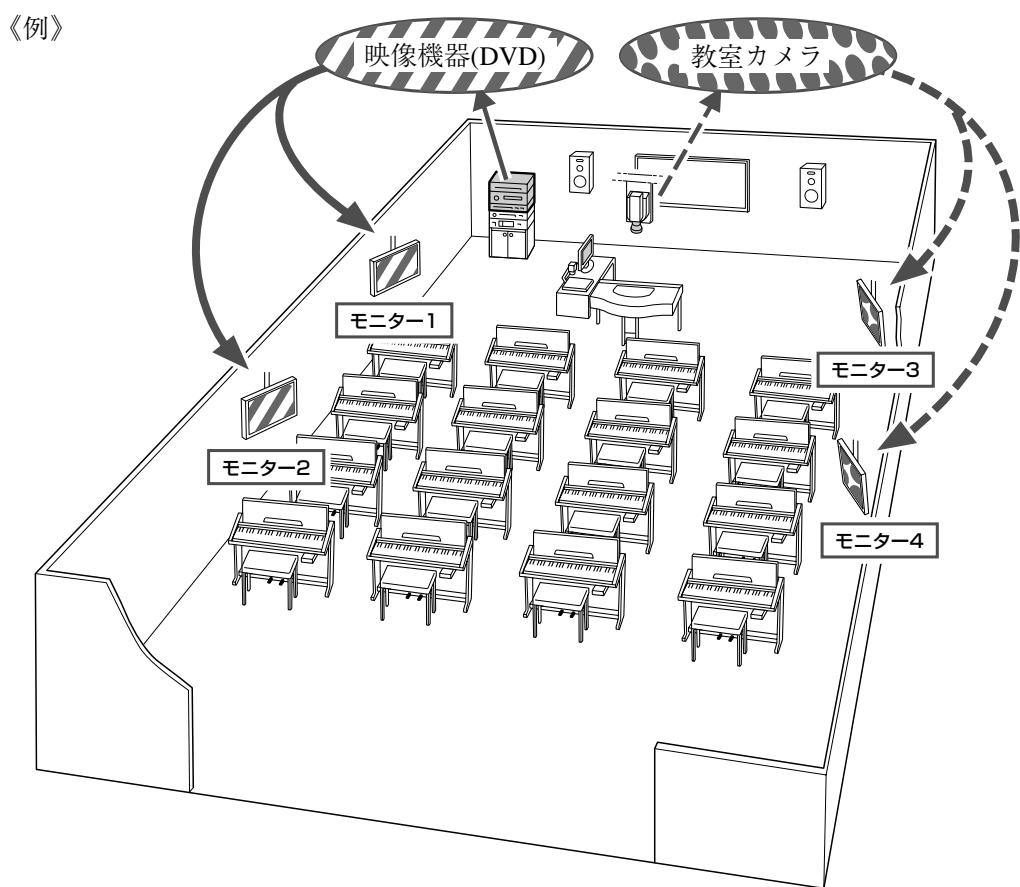


音の大きさの調節や、音を外部スピーカーに流すか、生徒のヘッドフォンに流すかの選択方法は、前述の「CD の鑑賞」とまったく同じ操作を行ないます。

### 解除

もう一度、外部映像のボタンを押してオフにします。

## 複数のモニターにちがう映像を映したい場合

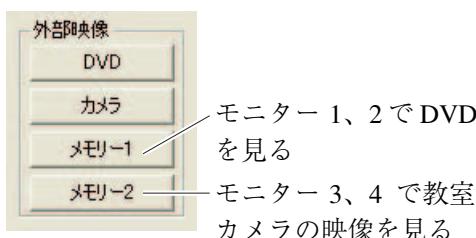


## 操作

- ① 前述と同様、見たい組み合わせの外部映像ボタンを押してオンにします。(DVDを見る場合は、対応する外部音源のボタンもオンにします)

下図は、[メモリー1]ボタンをオンにすると、DVD映像がモニター1、2に映り、[メモリー2]ボタンをオンにすると、教室カメラがモニター3、4に映るようにセットされた例です。上のイラストのように映したい場合は、[メモリー1]ボタンと[メモリー2]ボタンを両方押してオンにします。

## 《例》



教室によっては、1つのボタンを押すだけで、上のイラストが実現できるようセットされている場合もあります。この場合、該当するボタンを1つだけオンにします。

# 時間外自習

授業時間外に、生徒はML教室の楽器を使って自習することができます。このとき、指導者はアプリケーションを立ち上げる必要はありませんが、システム全体の電源は立ち上げておく必要があります。

## 個人で楽器演奏を練習する

使用したい楽器の電源をオンにすることで、そのまま演奏練習できます。

## グループでアンサンブル練習する

使用したい楽器の電源をオンにすることで、そのまま演奏練習できます。ただし授業時間外はアプリケーションが立ち上がっていなければ、生徒は同じグループ内のお互いの音を聴くことができません。この場合、ヘッドフォンではなく、楽器本体のスピーカーから音を出すことで練習できます。楽器本体のスピーカーから音を出す方法については、お使いの楽器の取扱説明書をご覧ください。自習が終わったら、次の授業に備えて元の設定に戻し、楽器の音がヘッドフォンから出るようにしておきましょう。

# 困ったときは

現象	原因と対処
指導者のヘッドフォンから指導者自身の音が聴こえない。	[指導者マイク] のボリュームスライダーが最小になっています。スライダーを上げてください。(20ページ)
指導者のヘッドフォンから生徒の音が聴こえない。	・画面上で演奏を聴きたい生徒 / グループが選択されています。生徒/グループを選択状態にしてください。(23、25ページ) ・[生徒] のボリュームスライダーが最小になっています。スライダーを上げてください。(23ページ)
画面上でグループを選択したいのに、個人が選択されてしまう。	[合奏モニター] ボタンがオフになっています。オンにしてください。
画面上で個人を選択したいのに、グループが選択されてしまう。	[合奏モニター] ボタンがオンになっています。オフにしてください。
生徒のヘッドフォンから生徒自身の音が聴こえない。	[一斉指示] ボタンがオンになっています。オフにしてください。(20ページ)
グループ編成をしたのに、同じグループの生徒同士でお互いの音が聴こえない。	[合奏開始] ボタンがオフになっています。オンにしてください。(24ページ)
生徒のヘッドフォンから聴こえる指導者の音が大きすぎる。	[指導者マイク] のボリュームスライダーが上がっています。スライダーを下げてください。
画面上で個人の音を聴きたいのに、他の生徒の音も混じって聴こえてしまう。	画面上で複数の生徒が選択されています。他の生徒の選択を解除して、聴きたい生徒だけを選択してください。
外部音源の音がヘッドフォンから聴こえない。	模範演奏の[ヘッドフォン] ボタンがオフになっています。オンにしてください。(34ページ)
外部音源の音が外部スピーカーから聴こえない。	模範演奏の[スピーカー] ボタンがオフになっています。オンにしてください。(34ページ)
MIDIファイルの転送ができない。	楽器にUSBフラッシュメモリーなどの外部記憶装置が接続されています。外部記憶装置は転送の前に抜いておいてください。
グループ編成時、ドラッグ&ドロップで生徒をグループに入れようとすると、[生徒名] がグレーアウトしてグループに入れられない。	教室レイアウトとクラス人数によっては、内部接続状況が異なるため、同じペア/グループにできない場合があります。その場合は別のグループに入れてください。
CDなど外部音源を鑑賞中、生徒の音が一緒に鳴ってしまう。	画面上で生徒が選択状態になっています。[全選択解除] ボタンを押して、生徒の選択解除をしてください。
画面が小さくて使いづらい。	お使いのコンピューターの画面の解像度を $1024 \times 768$ に変更してください。コントロールパネルで「画面」アイコンをダブルクリックします。開いた画面の[設定]タブを開き、解像度を $1024 \times 768$ に設定します。
タッチパネルの反応が悪い。	タッチパネルの設定を変更してください。変更方法はお使いのタッチパネルに付属の取扱説明書をご覧ください。

## *Memo*

## *Memo*

# 保証とアフターサービス

MLA-4 のサービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

## ● 保証期間

お買い上げ日から 1 年間です。

## ● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

### 消耗部品の例

スイッチ、ランプ

## ● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打ち切後 8 年です。

## ● 修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ修理ご相談センターへ修理をお申し付けください。

## ● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ◆ 修理に関するお問い合わせ

### ヤマハ修理ご相談センター

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～18:00、  
土曜日 9:00～17:00  
( 祝日およびセンター指定休日を除く )

ナビダイヤル  0570-012-808  
( 全国共通番号 )

\*一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP 電話からは TEL 053-460-4830

FAX (053) 463-1127

## ◆ 修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45  
( 祝祭日および弊社休業日を除く )  
\* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

### 北海道サービスステーション

〒 064-8543  
札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 1-50 ヤマハセンター内  
FAX (011) 512-6109

### 首都圏サービスセンター

〒 143-0006  
東京都大田区平和島 2 丁目 1-1 京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F  
FAX (03) 5762-2125

### 名古屋サービスセンター

〒 454-0058  
名古屋市中川区玉川町 2 丁目 1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫 3F  
FAX (052) 652-0043

### 大阪サービスセンター

〒 564-0052  
吹田市広芝町 10-28 オーク江坂ビルディング 2F  
FAX (06) 6330-5535

### 九州サービスステーション

〒 812-8508  
福岡市博多区博多駅前 2 丁目 11-4  
FAX (092) 472-2137

※名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

**管弦打学校営業部**

管打・教育楽器企画グループ

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL 03(5488)1686

**インターネットホームページ**

ヤマハ株式会社ホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/>

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

※名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

**ヤマハ株式会社**